

「ご挨拶」



牧師 宋 南鉉
(在日大韓基督教会・大阪第一教会)

「愛の実践」

人々は「愛」という言葉をよく使います。歌詞やドラマ、映画のどこでも愛を言っています。しかし、人々に愛とは何かと尋ねると、快く答えることができない。その理由は、愛という言葉はよく聞くものの、愛を実践している人々を目撃した経験がないからです。

それで、新約聖書のヨハネの福音書 3 章 16 節は愛が何であることを明確に教えてくれます。「神はこのように世を愛し、一人子をお与えになった。それは彼を信じる者が滅びることなく、永遠の命を得るためである。」聖書は、「愛」というのは相手に必要なものを与えること'だと語ります。罪人たちが住んでいる世ですが、神は世を愛し、一人子をお与えくださいました。

この面において、浪速教会は『愛の家』ともに、多くの人々に真の愛とは何かを示しています。春、夏、秋、冬が何十回も変わっても、人々に必要なものを心を尽くし、力を尽くして準備し、分け与えています。春は楽しく、夏は涼しく、秋は喜びに、冬は暖かく、心を込めて準備しています。これほど長い間、大阪で真の愛を実践しているところは珍しいと思います。浪速教会と『愛の家』だけができることだと思います。個人的には『愛の家』を知ることができてとても幸せです。特に、「右の手のしていることを左の手に知らせてはならない。」(マタイ 6 : 4) このみ言葉どおりにいつも静かに愛を分かち合っています。浪速教会や『愛の家』の労苦と忍耐に敬意を表します。

これからも、『愛の家』を通じて地域社会が変わり、浪速教会がリバイバルすることを確信しています。より多くの人々が「愛の家」で主の愛を目撃し、経験することを祈ります。「愛の家」を通して、世の中のたくさんの人々が本当の愛の現場を目撃できることを祝福いたします。

「ご挨拶」



会長 柳 綾美
(在日大韓基督教会
関西女性連合会)

「小さな捧げものが、
大きな「命の糧」となる喜び」

ハレルヤ。主の御名を賛美いたします。日頃より関西女性連合会の活動のために、祈りと献身をもって歩んでくださる皆様に、心より感謝申し上げます。

私たち関西女性連合会は、毎年年末に各教会の女性会へ「釜ヶ崎越冬支援」を呼びかけ、皆様から寄せられた尊い献金を、浪速教会の「愛の家」をはじめ、主の愛を必要としている方々やその働きを支える現場へお届けするという、主から委ねられた光栄な役割を担っております。

先日、私は連合会の委員と共に「愛の家」を訪問いたしました。そこには、言葉を超えた温かな交わりと、互いを思いやるキリストの愛が満ちていました。特に、長年にわたりこの険しい伝道の道を、深い慈しみと揺るぎない信仰をもって歩み続けてこられた金鐘賢牧師任と姜貞淑師母任の献身的なお姿に、改めて胸が熱くなりました。雨の日も風の日も、絶えることなく炊き出しの奉仕を続け、傷ついた魂に寄り添ってこられたお二人の労苦は、計り知れないものです。その歩みを支え、守り続けてこられた主の栄光を、現場の熱気の中に強く感じることができました。

これまで各教会で皆様が捧げてくださる献金が、どれほど熱い祈りに支えられているかを知る立場にありましたが、今回、その支援が実際にどのような「温かな形」となって届いているのかを、この目で直接確かめる機会をいただきました。礼拝堂を埋め尽くす方々の真剣な眼差し、明るい讚美、そして愛をもって準備された食事が次々と配膳され、お一人おひとりの魂と体を満たしてい



「ご挨拶」柳綾美会長の続き

く光景。私たちの活動の原点は、まさに困難の中にあるお一人おひとりに寄り添う主の眼差しにあるのだと、深く教えられた時間でした。

「わたしたちは、言葉や口先だけで愛するのではなく、実を結び、真実をもって愛し合おうではありませんか。」（ヨハネの手紙一 3章 18節）



毎年、「釜ヶ崎越冬支援」の呼びかけに賛同し、尊い献金を捧げ続けてくださる各教会女性の皆様、そして個々人の会員の皆様に、心より感謝申し上げます。皆様の「実を結ぶ愛」のおかげで、孤独や困難の中にある方々に、主の温もりが届けられています。

現場を目の当たりにした今、私たち関西女性会が担う「呼びかけ、届ける」という役割の重みと喜びを、改めて深く噛み締めました。皆様から寄せられる小さな力が、支援の現場においては大きな奇跡の糧となっていることを確信し、これからも共に祈り、歩んでまいりたいと願っております。



1月22日に関西女性連合会の代表3名が訪問し、特別賛美を捧げてくださいました！

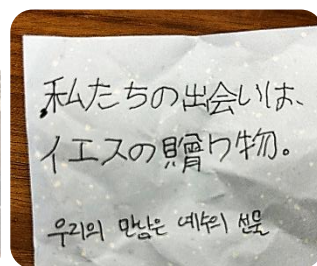
「愛の家」の風景



www.ainoie.org

木曜・伝道集会

昨年末から今年2月まで、韓国から宣教チームがひと月に1チームが来日されました。また他の教会に訪問しているチームも私たちの木曜集会に参加されました。其々のチームが祈り、話し合いながら準備して来日されたのがよく分かります。特別賛美には日本語の賛美を練習して来てくださり、自分の得意分野で音楽を披露して下さる兄弟・姉妹、また絵具セットを持ち歩いては似顔絵を瞬時に描いてプレゼントしてくれる姉妹、チームとしてお菓子やリップクリーム・ハンドクリームを沢山準備してプレゼントして下さるチーム、洗い物や奉仕を一生懸命して下さるチームもいらっしゃいました。私たちは初めて出逢ったとしても神様の中では既に「神の家族」であり、それぞれに神の体の其々の部分として役割を果たしているんだと改めて感じました。それはお祈りや支援を通していつも浪速教会「愛の家」を支えてくださり、このニュースレターを読んでくださっている皆様も同じように「神の家族」として、神様の中でひとつとなっているということも感じています。いつも応援・支援をありがとうございます。チームが用意してくださったプレゼントの中にこんなラブレターも入っていました♡「私たちの出会いは、イエスの贈り物」伝道、宣教、奉仕の中に注がれている神様からの恵みに感謝します！



金曜・炊き出し・衣類と日用品配

木曜日には教会内で礼拝と配食、金曜炊き出しでは、近くの西成公園で大き目サイズのおにぎり(中は梅肉や昆布入り)と熱々のおみそ汁(4~5種類の味噌を合わせている)を毎週約100~150人に配っています。そして帰る時にはフードバンクで譲り受けたパンやビスケット、非常食等をお土産としてお渡しさせていただいています。季節の変わり目には全国から贈られてくる衣類や生活用品の配布もしています。みなさまのご協力とご支援、本当にありがとうございます。



奉仕者の声

『詩編23編』

姜 尹石 (ガン・ユソク) 伝道師
(韓国神学大学大学院 神学生)

こんにちは。ワーキングホリデー(略:ワーホリ)で日本に来ました、カン・ユソクと申します。私が初めてナニワ教会を知ったきっかけは、韓国神学大学(ハンシン大学)大学院の教育課程の一つである「現場牧会実習」を通してでした。しかし、3年前に初めてワーホリを計画した時、浪速教会は私の選択肢にはありませんでした。当時の私は、仕事と学業、そして人間関係が重なり、燃え尽き症候群を経験していました。誰かのために自分のエネルギーを使う余裕はなく、誰も自分を知らない場所で一人静かに休みたい、ただそれだけを考えていました。そのため、私にとって日本でのワーホリは、疲れた自分のための安息の場であり、避難所のような存在でした。また、日本で過ごす1年が、自分の人生の方向を決める大切な時間になるようにも感じていました。だからこそ、誰よりも一生懸命準備しました。しかし、状況は私の計画通りには進みませんでした。

最初の計画は、比較的初期費用の少ない福岡でゲストハウスの仕事をしながら生活することでしたが、新しいスタッフが採用されたことで実現しませんでした。

次の計画は、大阪で居酒屋の仕事をしながら生活することでしたが、住居を契約する過程で担当者のミスがあり、契約が取り消しになってしまいました。

そのような予想外の出来事の中で、浪速教会で生活することになりました。ワーホリを最初に計画した時の私の思いや心は、浪速教会を通して、金鐘賢牧師先生、姜貞淑師母、そして教会の皆さんと出会う中で、少しずつ回復していきました。霊的な父である金牧師先生は、浪速教会の信徒や「愛の家」に住んでいる方々に問題が起これば、場所や時間を問わず駆けつけて助けてくださいます。人の力では簡単ではないことも、神様に委ね、祈りながら担っておられる姿を私は見てきました。また、姜師母はいつも祈りをもって一日を備え、傷ついた人々の安らぎの場となっておられます。訪ねて来る人を愛をもって迎え、話を聞き、ともに祈ってくださいます。神学生である私にとって、牧師先生と師母の歩みは毎日が挑戦です。人間的な思いではとても担いきれないように思えることもありますが、お二人は神様に信頼しつつ、静かにその道を歩んでおられます。その違いは何だろうと考える中で、私が気づかされたの

は、神様だけにより頼み、すべてを委ねる信仰、そしてすべての栄光を神様にお返しする感謝の心でした。

浪速教会で生活していると、日々小さな奇跡を経験します。個人的なことですので聖書の表現を借りるなら、昼は雲の柱、夜は火の柱によって導かれるように、また、不満の中でもマナとうずらで必要を満たしてくださるように感じることがあります。時には戒めを通して気づかされることもあります。

これらの出来事を偶然だと思う方もいるかもしれませんが、以前の私もそうでした。しかし、私をこの場所へ導いてくださった神様がここで見せてくださり、感じさせてくださったのは、私たちが偶然と呼ぶ多くの出来事も、実は神様のご計画の中で進められているということでした。浪速教会の共同体を通して、肉体的に疲れていた私には休む場所が与えられ、霊的に疲れていた私には再び神様を信頼し祈る力が与えられました。人間関係に疲れていた私には、言葉が完全に通じなくても、心をもって愛を伝え



尹伝道師とお母さん

てくださる共同体が与えられました。

ここは、神様が生きて働いておられることを体験できる場所です。ここは、神様が私たちを、そして日本をどれほど愛しておられるかを感じることのできる場所です。

私のビザは2026年8月に満了します。浪速教会で学んだことを心に刻み、これからの人生もまた、私をこの場所へ導いてくださった神様に委ねたいと思います。

この文章に書ききれなかったことも多くありますが、浪速教会を覚えていられるなら、いつかまたお会いできる日があると信じています。それまで、私たちとともに生きて働いておられる神様を信頼し、感謝をもって一日一日を歩んでいくことができますように。

特集 「愛の家」の恩人⑱

姜 貞淑(カン ジョンスク) 師母(略:姜サモニン)
(在日大韓基督教会 浪速教会「愛の家」)

執筆: 金英姫勸士

私が浪速教会とご縁を持つようになったのは、今からおよそ24年前のことです。その当時、私は大阪聖山教会に通っていましたが、私は宣教部長をしていましたが、当時の担任牧師であった金秀牧師が、「大阪にとっても困難な状況にある人々を助けるための教会があり、その教会が伝道所から教会に昇格する昇格式があるので、お祝いに行こう」と言われ、私を連れて行ってくださいました。私は生まれて初めて、多くの困難な状況に置かれている方々が沢山集まっている場所に行きました。その光景にとっても衝撃を受け、その方々の姿を見てあまりにも気の毒で、その日私はたくさん涙を流したことを今でも覚えています。その厳しい環境の中で、愛と感謝の心をもって仕えておられる牧師夫人の姿を見て、私も貧しい人々のために一緒に奉仕し、助けたいという思いが湧いてきました。なぜそうなったのか分かりませんが、その頃は奉仕に行くたびに、その方々の姿を見て自然と涙が出てきて、心に大きな感動を覚えていたことを、今でも鮮明に覚えています。



旧浪速教会の前で信徒と共に



木曜伝道集会で踊りの
賛美を導く姜サモニン

当時は私は週に一度か二度ほど通って奉仕をしていました。その頃の教会は、古い倉庫のような二階建ての建物でした。二階では木曜伝道集会が開かれ、昼食を作って分け合っていました。夏の雨の日には、その熱気と匂いが本当にすごかったものです。一階は台所と食堂になっていて、日本に来た韓国の宣教チームの方々が食堂に段ボールを敷いて、床に寝ながら奉仕していることもありました。イエス様を信じて変えられ奉仕者になった信徒たちと、喜びの心で心を合わせ、毎週金曜日にはおにぎりや味噌汁を作り、公園での炊き出しと夜回りをしていました。当時は今よりも体も心も元気だったので、浪速教会へ向かう足取りはとて軽く、行くたびに喜びに満ちた気持ちで奉仕することができました。その頃、姜サモニンはまだ日本語があまり上手ではなく、日本人の信徒たちがい

つも笑いながらからかうこともありましたが、しかし奥様はいつも笑顔で、その信徒たちを家族のように大切にし、愛しながら、とてもよく仕えておられました。

私は週に一、二回行って奉仕する程度でしたが、姜サモニン様は寝る時間を除けば、ほとんど教会でその方々と共に生活しながら、喜びをもって仕えておられました。行き場を失い、路上で段ボールや新聞紙をかぶって眠るような方々に、神様の愛と福音を伝えるために、金先生と共にその大変な働きを、喜びをもって仕えておられる姜サモニンを、私は心から尊敬するようになりました。姜サモニンは、純粋な心と深い愛をもって、人生のどん底に落ちている人々を涙と祈りで仕え、一人ひとりの魂をまるで純金のように変えられていく姿を見て感動しました。どんなに苦しい瞬間も信仰とお祈りに寄って乗り越えて喜び感謝して生きる方です。その美しい心を神様が覚えてくださり、大きな祝福と恵みをもって報いてくださることを、私は信じ疑いません。

今年、浪速教会は創立29周年を迎えます。

29年間、一日も休むことなく信仰によって走り続けてこられた、その尊い歩みの中で、日本の地にただイエス・キリストの愛と福音を宣べ伝えるため、イエスの十字架に共に釘付けられる思いで主と共に歩んでこられた私たちの姜貞淑サモニンのために、どうか皆さまの執り成しの祈りと大きな拍手をお願いいたします。



夜回り



現在の教会堂で信徒と共に



姜サモニンと金英姫勸士任



路上生活者支援のための 献金のお願ひ



寒い季節が春一番の風と共に過ぎ去り、新しい命の芽が出ようとしています。この美しさと命の力に満ち溢れる自然界を私たちのために創造された父なる神様と、イエス様の御受難と復活を心に留める季節となりました。支援者の皆様におかれましては、いかがお過ごしでいらっしゃいますでしょうか。平素より私ども、浪速教会「愛の家」の活動へのご理解、ご協力を賜り、まことに感謝申し上げます。また、クリスマス献金には、たくさんの方々から祈りと愛をもってお応えくださいました。心より感謝申し上げます。皆さまがお献げくださったクリスマス献金は、路上生活者、失業者、生活保護受給者で身寄りのない独居の方々への支援のために用いさせていただきます。

昨年から本年に引き続き、世界情勢が悪化し、戦争の火も少しずつ広まっています。お米の高騰と共に、ガソリン代も上がってきています。支援者の皆様の生活も苦難の中にあると思います。共に天のお父様に祈り、支え合っていく必要が更にさらに強まってきているのを感じます。そのような状況下ですが、お祈りや物品のご協力・ご支援を変わりなく送っていただきました事を、心よりお礼申し上げます。大変な状況下とは存じますが、引き続きのご支援の程を宜しくお願い致します。

現在、私ども「愛の家」は炊き出しを一週間に2回行っております。金曜炊き出しには毎回約110人～200人、木曜集会にも常時50～80人近くの路上生活者や失業者の方々が温かい食事を求めて並ばれます。炊き出しの実際の経費として、毎週85,000円を支出しております。

(お米50kg・40,000円、副食費45,000円、合計85,000円)

「愛の家」事業：木曜・金曜炊き出し（木曜集会&日曜礼拝と食事提供、夜間パトロールは現在休止中）、散髪奉仕、共同生活、聖書勉強会、福祉相談、福祉館運営、生活用品収集分配

2026年度 献金目標額：100万円

◇ 定期、一般後援者募集

一般後援：1,000円以上、 定期後援：毎月1,000円以上

衣類、生活用品、靴、靴下、寝袋、下着、鞆、タオル、カイロ、食材、割り箸、お米を送って下さい（古着のスーツ類の需要は少ないです）

献金振込先（ゆうちょ銀行）

郵便振替：00930-0-299392 口座名：在日大韓基督教会浪速教会

送り先：〒557-0061 大阪市西成区北津守3-2-3浪速教会「愛の家」

Tel 06-6561-4712、6562-0109、Fax 6561-4709

E-mail:ainoie@msn.com ホームページ：www.ainoie.org

2026年4月

在日大韓基督教会 浪速教会「愛の家」
牧師 金 鐘 賢

⑤

献金者お名前(敬称略・順不同)

(2025年12月1日～2026年2月28日)

定期後援金

グッド・サマリタン・チャーチ 大阪淡路チャペル・在日大韓基督教会関西地方会、豊中第一復興教会、朴栄子、木村敏子、金栄吉・李香蘭、金鐘賢・姜貞淑、大木正典、金英姫・森元孝、市川和俊、平野竜一・真希、匿名

一般後援金

京都教会女性会、川西教会、西新井教会、京都シオン教会、キングスウェイ教会宣教チーム、ワンドアンティオキア教会宣教チーム、李恩順、尹豊子、野津道代、キムジンス、奏玉子匿名

クリスマス献金

西部地方教会女性連合会、大阪教会女性会、京都教会女性会、平野教会、沖縄教会、広島教会、つくば東京教会、折尾教会、大阪西成教会、広島教会女性会、福岡中央教会、神戸東部教会、京都教会、神戸教会、京都南部教会、川崎教会、大垣教会、武庫川教会、在日大韓基督教会館、関西地方教会女性連合会大垣教会、西宮中央教会、宇都宮松原教会、旭川教会、荻窪北教会、横須賀教会、都島教会、東南キリスト教会、名東教会、船尾土曜学校、神戸布引教会、福岡城南教会、滝川教会伝道委員会、横浜海岸教会、南浦和教会、大阪姫松教会、吉田教会「教会と社会」委員会、日土教会、イカイノ保育園、河内常男、佐藤悦子、梁漢順、韓亨春、梨原ひろ子、木村敏子、清水眞一、金森俊徳、重松啓三郎、久保安子、重松絢子、鈴木崇、宮澤玲子、森田幸男・孝子、北本睦、申容燮・清水のぞみ、

お米、お米献金

宮澤玲子、徳山美智子、森明子、徳山愛子

食料

フードバンク大阪、フードバンク関西、国際飢餓対策機構、清水眞一

アルミ缶献金

「愛の家」に通う兄弟たち、北津守町有志、イカイノ保育園

衣類、靴、鞆、生活用品、ふとん類、マスク、家具

韓亨春、清水眞一、松井明美、匿名



発行責任者 金鐘賢

〒557-0061 大阪市西成区北津守 3-2-3

浪速教会「愛の家」内

TEL 06-6561-4712(教会)

E-mail: ainoie@msn.com

ホームページ: www.ainoie.org

郵便振替口座: 在日大韓基督教会浪速教会

00930-0-299392

「愛の家」会計決算報告書(2025.1.1-12.31)

収入	25 予算	2025.1-12
定期後援会	1,000,000	1,197,100
一般後援会	1,600,000	1,801,402
クリスマス献金	500,000	1,410,104
食事献金	0	0
総会支援金	200,000	200,000
地方会支援金	420,000	420,000
御米献金	150,000	67,000
小計	3,870,000	5,095,606
繰越金	422,981	422,981
合計	4,292,981	5,518,587

支出	25 予算	2025.1-12
事務・備品・印刷費	220,000	205,718
発送費	100,000	92,203
交通費	50,000	15,740
車両維持費	200,000	181,986
奉仕者支援金	700,000	1,117,876
研修費	200,000	0
御米代	400,000	960,129
副食費	1,400,000	1,1881,259
建築積立金	700,000	200,000
救済費	300,000	11,110
修理施設費・予備費	122,981	32,728
小計	4,292,981	4,698,749
繰越金		819,838
合計	4,292,981	5,518,587

「愛の家」会計中間報告書(26.1.1-26.2.28)

収入	26 予算	2025.1-2
定期後援会	1,200,000	142,057
一般後援会	1,800,000	224,403
クリスマス献金	1,400,000	659,800
食事献金	0	0
総会支援金	200,000	0
地方会支援金	420,000	70,000
御米献金	80,000	28,000
小計	5,100,000	1,124,260
繰越金	819,838	819,838
合計	5,919,838	1,944,098

支出	26 予算	2025.1-2
事務・備品・印刷費	230,000	10,178
発送費	100,000	0
交通費	50,000	200
車両維持費	200,000	13,293
奉仕者支援金	1,200,000	174,629
研修費	200,000	0
御米代	1,000,000	160,634
副食費	2,000,000	284,381
建築積立金	200,000	2,021
救済費	200,000	0
修理施設費・予備費	539,838	36,822
小計	5,919,838	682,158
繰越金		1,261,940
合計	5,919,838	1,944,098